

令和2年度 地方創生交付金事業説明 議事録

室長：地方創生推進交付金事業であるスマートアグリ実証事業について、交付金のルールとして効果の検証をする必要があります。今から事業の報告をしますので皆様からご意見を頂きたいと思います。

政策調整係長：地方創生交付金事業効果検証について 内容説明

議員：3年間の事業として進めてきたが、その効果は何か。

係長：まず、今まで経験のみで蓄積されてきた気象の感覚等は、データを取得することによりこの事業で初めて可視化されたことが大きいと思います。例えば、土の水分量を見て灌水を実施する目安とした農家の方もいらっしゃいました。今後もデータの分析は進めていきたいと思います。

議員：ドローンの撮影で病気等は分からないか。

係長：病気までは分かりません。主に、撮影した写真からAIによる分析を行い生育診断や収穫量の予測を実施しています。

議員：ドローンで防除はできないか。

係長：ドローンに搭載できるタンクは限界がありますので、別で大きなタンクを設置してホースで繋げるというような方法を検討しなくてはならないと思います。

議長：3年間で実証事業終了だが、来年度からの予定は。

係長：来年度からは県の交付金を利用して事業を続けていく予定です。その中で、先程ありましたドローンによる防除等も実施していきたいと考えています。